

KLIVIA NEWS

6月6日で20周年を迎えることができました。

* クリビアの20年と今の想い * 田中舞花

クリビアは6月6日で20周年を迎えました。ご時世もあり、なかなか全ての生徒さんや保護者の皆さんと些細なお話をできる機会も減ってしまいました。クリビアがどうやって始まったのか、興味がある方がいたら、是非お暇な時にでも読んでみてください。

「社交ダンスのスタジオって広いから、あいている時間を使わせてもらおう！」という思いつきで、下北沢を歩いていたら、日当たりの良いダンススタジオを見つけました。すぐさま門を叩き、「バレエクラスやらせてもらえませんか？」と聞いてみました。が、「無理です。」とあっさり断られた帰り道。下北沢駅のホームに「講師募集」と書かれた看板を見つけました。その足で明大前の駅で降り、「ここでバレエクラスを開かせてください。」と飛び込んだ奥敬一郎ダンススタジオ。代表の清栄先生はキリッと美しく、あっさり「無理よ、バレエなんてうちはやらないから。」とそこでも断られました。しかし、舞花先生は食い下がります。「生徒、たくさん連れてくるので、あいている時間ならどこでもいいのでスタジオ貸してください。」すると、渋々、清栄先生は「じゃあ、木曜の夜遅くなら空いてるからいいわよ」と週に1回スタジオを使わせて頂けることになりました。とはいえ、たくさん生徒を連れてくるというのは「いつか」の話。最初のレッスンは、妹と、友人2人の合計3人。誰もバレエなどやったこともありません。小学生の頃にサンタクロースにもらったイーゼル（絵を描く台）に、「バレエはじめませんか」という手書きの看板を描き、スタジオの前に置きました。ホームページがまだ珍しかった20年前、生徒さんの一人が見た事もない立派なホームページを作ってくれました。少しずつ生徒さんが訪れてくれるようになった矢先、明大前のスタジオが突然取り壊しになり、奥スタジオとともに笹塚に移転してきました。その頃には、大人生徒さんの娘さんとそのお友達に、子供のクラスも始めましたが、何年かはこれまた生徒が3人。クリビアはバレエ教室というよりは、大人の遊び場という雰囲気でした。色々なイベントやパーティなどもよく行っていました。

そこに転機が訪れます。近くに会社のあったマイクロソフトの社員さんが多く通っていたことで、「会社のイベントでバレエ公演をやりたい！」という企画に声をかけていただきました。会社の部活であるマイクロソフト管弦楽団の指揮者、山口琢也氏とともに、社員さんや生徒とその家族も巻き込んで、楽団に阿波踊り部まで登場する斬新な白鳥の湖を上演しました。

それから、マイクロソフト管弦楽団はクリビア管弦楽団に引き継がれ、毎年演奏会とバレエを上演することになりました。10年ほどの間に、4大バレエを全て上演し、バレエでは難しい作品に

もたくさん挑戦しました。小さい子供から、大人から始めたバレリーナまでが出ることのできる楽しいバレエ公演をモットーに、出演者100人、満席の劇場で毎年公演を重ねてきました。

時がたち、最初の子供たちが大きくなり、「パドドゥができる稽古場にしよう」と天井の高い稽古場に移転しました。また時がたち、「コールドバレエが並んで稽古できるお稽古場に！」と、広い場所を求め、今の初台のお稽古場に移転しました。そして、2018年にドンキホーテの全幕を上演した後にコロナがやってきました。お稽古場はガラーンとした感じに思えました。

コロナを理由に、公演のないクリビアはまるで別の場所のようでしたが、この数年で行った新しいチャレンジの数々は、新しいバレエのスタートになったように感じています。

バレエは長い歴史の中で数多くの変化と進化をしながら世界中で受け継がれている芸術。クリビアは、そんなバレエの大きな懐で遊ばせてもらうかのようにここまで続けさせていただきました。楽しむことを大前提に、バレエへ畏敬の念を持ち、クリビアに集ってくださる一流のダンサーや指導者たちのアドバイスを折りに触れていただきながら進んできました。

私の学んできたバレエは、教えてもらうのではなく、自ら歩み寄って自ら汲み取るものでした。だからこそ、一つ何かができるようになることは、自分で見つけた唯一無二の宝物のように思えて、たった一つのその宝物で、退屈なバーレッスンも乗り越えられたし、レッスンで褒められることなんて一度もなくとも何年もバレエを好きでいられました。今の時代、そんな風にバレエを好きになるのはもう難しいのかもしれませんが、そんな仲間が一人でもクリビアに繋がってくれたらと思います。

20年、突飛なことの繰り返しのクリビアを面白がって続けてくださった生徒さんたちには、感謝しかありません。応用問題のようなところから、バレエの真理を汲み取って、鍛錬を続けている生徒さんから、教えるべきこととおそわり、その結果にまた学ぶという繰り返しです。

今年は、20周年という良いタイミングで、オーケストラ公演の10回目を行うことになります。たった数年であまりにも変わった世の中で、新しい一歩になるのでしょうか。

クリビアというのは、オランダのミュージカル映画「クリビアにおまかせ」から付けました。クリビア診療所という、個性的な人が集う診療所のお話です。いつか、面白い仲間たちがバレエを通して一つになって、面白いものが作りたいです。そして、クリビアの花が咲き乱れる居心地の良い場所になったらいいなと思います。

最後に、お祝いの品物やお花を贈ってくださった生徒さんには、改めまして心より感謝申し上げます。新しくクリビアに加わってくださった方、そして、ずっとずっと長く繋がってくださる皆様に心からの感謝を申し上げます。

田中舞花